

ロンドンオリンピック JOC ジャパンハウスオープン ～ロンドンオリンピック関連イベントのご紹介～

ロンドン事務所

7 月 27 (金)、テレビ視聴を含め世界で数億人の人々が見たと言われる開会式が行われ、第 30 回オリンピック競技大会、ロンドンオリンピックが開幕しました。8 月 12 (日) まで、204 カ国・地域から、日本の代表選手 293 人を含む約 1 万 500 人の選手が参加し、26 競技、302 種目でメダルを競います。

ここでは、ロンドンオリンピック開催中に日本オリンピック委員会 (JOC) が開設する「2012 ジャパンハウス」についてご紹介いたします。

ジャパンハウスは、オリンピックパーク内の選手村とは別に、オリンピック期間中の JOC の統括拠点となるとともに、JOC 関係者はじめオリンピック関連の様々な人々へのホスピタリティサービスを提供するほか、JOC や日本代表選手団の記者会見等の場所としても使用されます。また、文化・観光等、日本の魅力を世界へ発信し、2020 年東京オリンピック・パ



ジャパンハウス外観

ラリンピック招致活動を推進するとともに、日本代表選手団の応援拠点として、オリンピックテレビ観戦も実施されます。

ジャパンハウスが設けられているのは、ハイドパークにほど近い、4 Hamilton Place にある王立航空協会 (Royal Aeronautical Society) の施設内です。近隣にはロンドンオリンピックの期間中、国際オリンピック委員会や各国オリンピック委員会、また各競技の国際競技連盟のメンバーが宿泊する国際オリンピック委員会 (IOC) の指定ホテルや、在英国日本大使館もあり、活動拠点としてふさわしいロケーションです。

ジャパンハウスの各フロアをご紹介しますと、まず建物に入って右手にビジターズフロアがあります。ここでは、日本でのオリンピック・パラリンピック開催を願う人々からのメッセージや、人々が日常的にスポーツに親しむ姿等の映像や、日本のスポーツ選手の紹介ビデオを見ることができます。

その奥には、記者会見場が設けられています。ここでは、JOC や日本代表選手団が記者会見を行うほか、オリンピック期間中、原則として午後 3 時から午後 9 時まで、英国在住の日

本人の方々など招待者を対象に日本代表選手の競技を大型スクリーンで観戦しながら応援できるオリンピックテレビ観戦も行われます。記者会見としては、7月26日に当地で開催されたIOC総会において、IOC委員就任が決定した竹田 JOC 会長の IOC 委員就任記者会見や、ロンドンオリンピックで最初の日本代表選手メダリストとなった柔道の平岡拓晃選手の記者会見が行われました。これからも数多くの日本代表選手がメダリストとなり、記者会見に登場することでしょう。記者会見場に設けられた日本代表選手団応援コーナーには、オリンピックテレビ観戦の際に利用できる国旗や応援グッズも用意されています。



竹田 JOC 会長就任記者会見風景

2階のラウンジでは、7月30日にIOC委員や各国オリンピック委員会、国際競技連盟はじめ海外のオリンピック関係者を招いたレセプションが開催されました。会場で提供されたビール、ワインが日本のものであることはもちろん、料理研究家の服部幸應さんがコーディネートした料理を自ら解説し、ゲストに振る舞う姿も見られました。また、文化交流士の琴の演奏や、ティーセレモニーの実演など、海外のゲストに日本の伝統文化に触れる機会を提供しました。約300人の方が参加し、日本酒や寿司等の日本料理、そして日本文化を大いに楽しみました。今後も、JOC、日本代表選手団と在英日本大使館の主催によるレセプション等が予定されています。



ティーセレモニー

2階にはほかに東京2020オリンピック・パラリンピック招致コーナーが設けられています。ここはIOCのルールにより、この期間中に招致活動ができる唯一の場所となっています。2020年大会の会場計画のパネルに加え、より視覚的に東京の会場計画や都市の魅力を紹介するために、コンピューターグラフィックを利用した「ズームングシステム」を使って来場者への説明が行われています。

これから8月12日の閉会式までの間、ロンドンオリンピックでの日本代表選手団の活躍と、ジャパンハウスの活況を期待したいと思います。

(川那子参事役 東京都派遣)